

# 求職外国人59人出席

## 緊急日本語講座始まる

市 豊田国際交流協会



外国人求職者向けの緊急日本語講座が十日、豊田市小坂本町の豊田市国際交流協会(TIA)で始まった。TIAがハローワー

ク豊田、名古屋市、豊田市と協力して開催。

会話が中心となる「入門」と読み書き中心の

「初級」の講座が、それぞれ午前と午後あり、定員の百人にブラジルやペルー、中国の六カ国から応募があった。

初日は五十九人が出席。初級では、日本人ボランティアと二、三人のグループになって自分や家族のことなどを紹介しあった。ペルーの男性(五五)は「市内の自動車関連会社に勤めていたが、昨年十月から仕事がなくなつた。日本語ができないと仕事が見つからない。十回の講座を頑張りたい」と話した。

講座は計十回開催。初級では平仮名や片仮名、履歴書の書き方などの習得を目指すほか、ハローワークや、企業の人事担当による面接の仕方などもあ

る。(杉山直之)



グループになり自己紹介をする参加者ら＝豊田市小坂本町の豊田市国際交流協会で

内

記事情報

中日新聞 2009年2月11日（水）朝刊

【訂正】

本文中の「名古屋市」は「名古屋大学」の間違いです。

\*この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。